

地域密着型金融の取組事例について

タイトル：アグリスクール「大津わくわく探検隊」 JA名 JAレーク大津（滋賀県）

1 動機 (経緯)	農業を通じて次世代を担う子どもたちに地産地消の重要性・食物の大切さ・環境・自然の大切さ等を体験学習することにより、食・農のあり方を伝えていくことを目的に、「大津わくわく探検隊」の活動を展開しています。
2 概要	「大津わくわく探検隊」は、JA管内の小学3年生、4年生を対象として、社団法人家の光協会発行の「いのち・自然・食べ物・農業の大切さ」を小学生向けに伝える雑誌「ちゃぐりん」をテキストとして活用し、食と農などに関する学習をして理解を促進するための様々な活動を行っています。(スクール開校回数 年9回 卒業日帰り旅行 1回)
3 成果 (効果)	「大津わくわく探検隊」の活動を通じて、子どもたちに「いのち・食べ物・農業の大切さ」を伝え、「自然・環境の尊さ」を感じる心の育成に貢献しています。また、本取組みを通じて地域貢献活動など、JAの活動を広くPRし、「JAへの親近感」を感じていただき、JAファンを増やすことにもつながっています。
4 今後の 予定(課題)	平成24年度も引き続き小学3・4年生を対象にアグリスクールを開催します。また、昨年度のスクール卒業生を対象にしたスクールも別途開催します。

【写真】田植え体験



【写真】陶芸教室(My茶碗づくり)

